
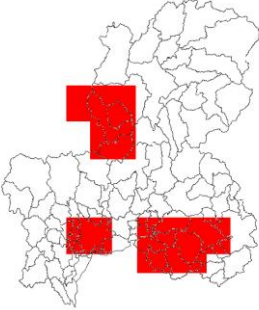


シソクサ	<i>Limnophila chinensis</i> (Osbeck) Merr. subsp. <i>aromatica</i> (Lam.) T.Yamaz.	準絶滅危惧
		ゴマノハグサ科
選定理由	分布域の一部において生育の条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(箕浦博之)
形態の特徴	茎は直立してあまり分枝せず、高さ10-30cmになる1年草。葉は対生し、無柄、長楕円形で少数の尖った鋸歯がある。花期は9-10月。上部の葉腋から長さ7-15mmの花柄を伸ばし、白色・筒状で長さ8-11mmの1花をつける。	
生態的特徴	湿地に生える。	
分布状況	本州(関東以西)~九州、琉球南部、朝鮮南部、中国、東南アジア、オーストラリアに広く分布する。県内では県南の南部及び県北の南西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の南部及び県北の南西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良